

令和6年度 市民講演会「障害のある人もない人も共に生きる社会をめざして」 開催報告

1 開催状況

開催日時：令和7年2月15日（土）午後1時30分～15時50分

会場：鯉城ホール

参加者数：254名

2 プログラム

<第1部>

基調講演「障害者差別解消法がめざす社会」

講師：手嶋 雅史 さん

（梶山女学園大学人間関係学部人間共生学科教授）

トークセッション「ダンス活動で実現するインクルーシブな社会」

司会：手嶋 雅史 さん

（梶山女学園大学人間関係学部人間共生学科教授）

登壇者：Mr.Takashima（愛 Wish プロジェクト代表 高島康貴さん）

愛 Wish プロジェクトパフォーマー

（前川 陽さん、前川 満さん、前川 奈々さん）

手嶋さんによる基調講演では、障害者の割合を、箱を用いてわかりやすくご説明いただきました。その上で、障害者差別解消法や名古屋市障害者差別相談センターの説明、障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例の改正のポイントから、名古屋市が目指す社会についてお話いただきました。

トークセッションでは、手嶋さんが司会となり、Mr.Takashima と前川さんご家族に、愛 Wish プロジェクトを始めきっかけや、参加して変化したことをお話いただきました。Mr.Takashima の誰に対しても対等に接する姿勢で、障害のある人もない人も輝くことができる、という素敵なお話や、ダウン症の陽さん自身の言葉でもお話いただき、愛 Wish プロジェクトの雰囲気がトークからも伝わりました。共生社会に向けて、その人自身を知ることが大切で、会場の皆さんにも第二部の舞台を知る機会にしてほしいとの思いも話され、会場が温かい雰囲気で聞き入っていました。



<第2部>

音楽とダンスの舞台「ひらいてたんぼぼ唄」

出演：愛 Wish プロジェクト

演奏：栗原 幸江さん（マリンバ奏者）

スカルサクラ Gamelan Seker Sakura

特別出演 山本 麻代さん（無音の舞踊家）

迫力あるスカルサクラ Gamelan Seker Sakura の演奏からスタート。マリンバの演奏が響き渡る中、愛 Wish プロジェクトパフォーマーの実話をもとにした舞台が開幕しました。音楽によって会場の雰囲気が一気に変わり、楽しそうに演じているパフォーマーの姿や山本さんの躍動感のある舞踊で、会場の皆さんを一瞬のうちに魅了しました。途中、会場の皆さんと手話をする場面や、パフォーマーが客席の中で演じる場面もあり、会場の皆さんも一緒に参加して舞台をお楽しみいただきました。共生社会が目の前で繰り広げられていることが感じられ、会場が盛大な拍手で包まれました。

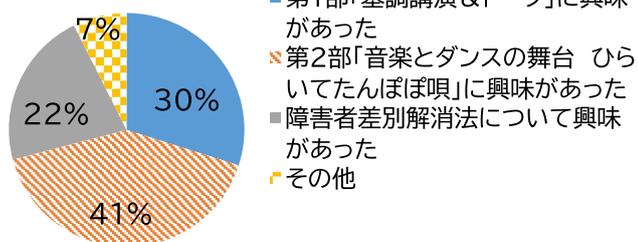


3 アンケート結果

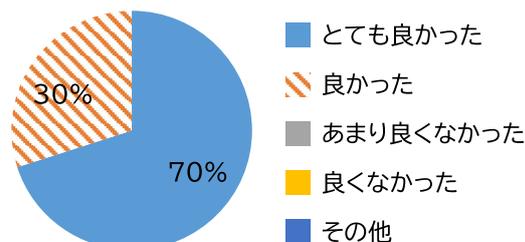
■アンケート回収数：191名（回収率 60.3%）

■主な質問と回答内容

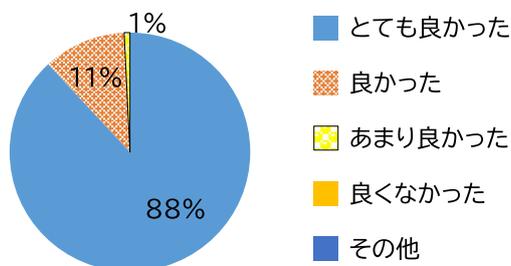
①参加動機



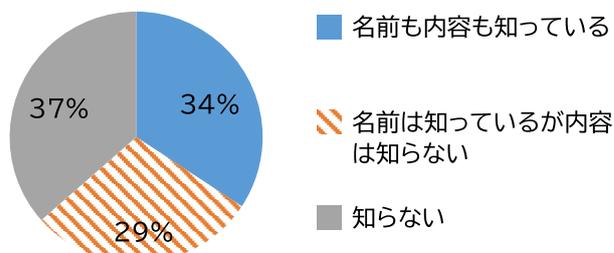
②第1部の満足度



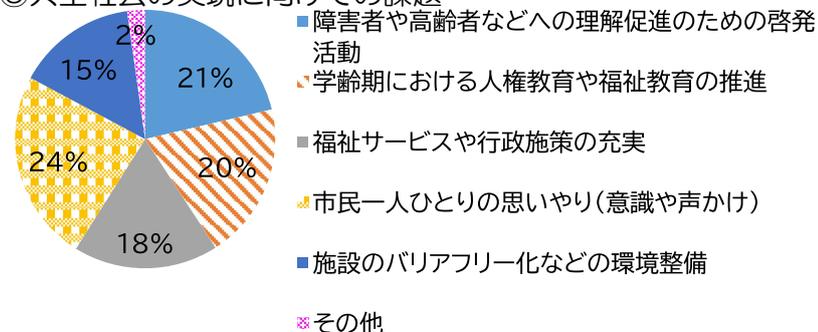
③第2部の満足度



④障害者差別解消法の認知度



⑤共生社会の実現に向けての課題



⑥感想

- ・ 偏見や差別という言葉が出てこない、あたりまえの社会を目指すことは、街づくりにも繋がるような気がしました。
- ・ 知る・接する・触れ合う機会を大切にしたいと思いました。
- ・ 会社で、障害のある方と接する機会も多いので、良いヒントを頂けたと思います。